

堤間地区に進出予定のペパーレット(株)と立地協定を締結

◎内陸フロンティア推進課
☎36・7125

市は1月21日、堤間地区工業用地(牛尾)に進出予定のペパーレット(株)と、立地協定を締結しました。

この協定は、環境への配慮・防災・地域経済の振興・地元雇用の優先などへの協力に関する内容をまとめたもの。同社の乙黒昇太郎代表取締役は「(市外から)島田市への本社移転が決まり、第二の故郷という思いで、地域の皆さんに愛される会社を目指して取り組んでいきたい」と意気込みを語りました。



染谷市長にあいさつをする乙黒代表取締役(右)

今年の一文字「明」を発表

◎秘書課 ☎36・7117

染谷市長は、1月5日の定例記者懇談会で、新年の抱負を表す一文字「明」を発表しました。

市長は、自ら書いた色紙を掲げ「明けない夜はない。コロナ禍が明け、明るい未来に向けて再び進み出すための施策にまい進したい。アフターコロナの先に光明の見える、明るい1年となることを目指し、市民が心穏やかに、明朗に暮らせることを願っている」と、一文字に込めた新年への思いを話しました。



今年の一文字を手を抱負を語る染谷市長

初倉地区の小中学校再編に関する提言書を提出

◎教育総務課 ☎36・7952

初倉地区小中学校再編方針検討委員会は1月19日、令和15年度の開校を目標に「施設一体型小中一貫校」を新設する方針案をまとめた提言書を、濱田教育長に提出しました。

委員会は、実施した視察や地元ア

ンケート、保護者・地域住民からの意見聴取などを踏まえ、初倉地区の夢ある未来を思い描き、同案を提出。施設一体型小中一貫校は、交流活動に要する時間の削減や、小中が同じ目標で教育活動を行うことによる「中一ギャップ」の解消・学力向上などが期待できるとされています。

広報しまだが県広報コンクール最優秀賞を受賞

◎広報課 ☎36・7118

県と県広報協会は、1月20日に「令和3年度静岡県広報コンクール」の審査会を開催。昨年発行した広報しまだ11月号が広報紙(市)の部門で最優秀賞を、5月号が広報写真(一枚写真)の部門で奨励賞を受賞しました。同コンクールでの最優秀賞受賞は、11年連続となります。

審査会では、県内の市町や団体が昨年中に発行した広報紙・広報紙掲載写真・公開した広報映像などの、表現力や企画力、デザイン性などを評価し各賞を決定。今年度は、計6部門に98点の応募がありました。

審査員からは「長年、社会問題を自分事として、継続して取り上げてきた歴史があるからこそ、特集の精度(11月号)」、「色調のバランスが美しく、まとまりのある表紙になった」

(5月号)などと評価されました。

最優秀賞の11月号は、(公社)日本広報協会主催の「令和4年全国広報コンクール」に県代表として推薦されます。今後も、皆さんに親しまれ愛される広報紙づくりに励みます。



5月号(一枚写真・奨励賞)



11月号(広報紙・最優秀賞)

「令和4年度市行政に関する要望」に回答

☎商工課 36-7146

市は1月21日、商工会議所から10月に提出された「市行政に関する要望」に対して、回答を伝えました。

今回は、新たに要望された「中小・小規模企業を対象にした施策を一元化するシステムの構築」や「市内中小・小規模企業への波及効果が高い企業誘致」など、11項目について回答。それを受けて商工会議所の大久保節夫会頭は、DXの推進について「システムを熟知して、利用する必要がある。皆さんが理解する土台ができれば」と語りました。



染谷市長から回答書を受け取る大久保会頭(中央)

島田市オリ・パラ合宿誘致推進本部を解散

☎文化資源活用課 36-7214

「2020年東京オリンピック・パラリンピック合宿誘致推進本部」は、大会が閉幕し、目的を達成したことから、1月24日に解散を宣言しました。

同本部は、平成26年に設置され、誘致国・競技の選定、選手団の受け入れ、レガシーの構築などについて協議。市はこれまでに、東京オリンピックのホストタウンとしてモンゴルボクシングナショナルチームの合宿を4回、シンガポール卓球ナショナルチームの合宿を3回受け入れました。



解散宣言を行う本部長(染谷市長)

市の未来のための方針を職員に呼び掛け

☎秘書課 36-7117

1月4日、市役所会議棟で新年の仕事始め式を行いました。

染谷市長は「このまちの未来のために、今踏み出しましょう」とあいさつ。来年度から始まる、第2次島田市総合計画後期基本計画で定めた三大戦略「循環型社会」「縮充」「デジタルトランスフォーメーション」を全庁的に継続して取り組むよう、職員に呼び掛けました。また、感染対策としての様子を動画で配信。残る職員は、自席で視聴しました。



幹部職員に市政方針を呼び掛ける染谷市長(右)

道路事業の整備促進を国土交通省へ要望

☎建設課 36-7182

市は昨年11月18日、地元選出の国会議員2人と共に、市内の道路事業などに関する要望書を中山展宏国土交通副大臣へ提出しました。

今後、継続的に要望活動を行っていきます。

【要望内容の一部】

- 国道1号島田金谷バイパス4車線化事業の整備促進
- 国道473号の整備促進
- 榛原縦貫道路の整備促進
- 令和4年度における島田市道路事業の交付金の予算確保



中山副大臣(左から2番目)に要望書を手渡す関係者